

研究主題 他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習（二年次） ～身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める～

I 団体の内容・目的

昭和24年に発足。国語教育の理論と実践について研究し、東京都の小学校国語教育の推進と発展に寄与することを目的とした研究会です。本役員会、常任理事会を柱に、4つの部会に分かれてそれぞれに研究・実践活動を行っています。その成果は、「小研」を経て、練り上げたものを、2月の研究大会で授業公開、各部協議会、全体会をすることで、広く周知を図っています。今年度は、第35回の研究大会となります。昨年度より、令和8年度の全国小学校国語教育研究会の東京大会を見据えて、研究を進めています。



II 研究主題

昨年度より「他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習」としました。これは、それまでの研究主題を基に、新学習指導要領に掲げられている国語科の目標を踏まえ、令和8年度の全国小学校国語教育研究会の東京大会をに向けて、新しく設定したものになります。

この研究主題に迫るための副主題は、3カ年にわたって研究を深めていくことを目指し、設定しました。

- 一年次 「言葉による見方・考え方を働かせる学びをつくる」
- 二年次 「身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める」
- 三年次 「学びを通して身に付けた言葉の力を日常生活で生かそうとする」

昨年度の研究成果として、「各部で捉えた『言葉による見方・考え方を働かせること』」があります。今年度も、さらに検討を重ね、大会当日の資料とします。

資料
各部で捉えた「言葉による見方・考え方を働かせること」

令和6年2月16日

研究部	話すこと・聞くこと部	書くこと部	読むこと部	言語活動
<p>「言葉による見方・考え方を働かせること」は、児童が学習の中で、対象と主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。</p>	<p>「書くこと」は、児童が学習の中で、対象と主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。</p>	<p>「読むこと」は、児童が学習の中で、対象と主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。</p>	<p>「言語活動」は、児童が学習の中で、対象と主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。</p>	<p>「言葉による見方・考え方を働かせること」は、児童が学習の中で、対象と主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。児童が主体的に関わり、言葉による見方・考え方を働かせることと捉えられている。</p>

東京都小学校国語教育研究会

今年度は、児童が「身に付けたい力を意識」するためにはどのような手だてが必要かなど、各部で研究を進めています。

【今年度の各部の研究主題】

- 話すこと部: 求めて関わり、自他の学びの充実を目指す話し合い
- 書くこと部: 書くことのよさを実感できる単元づくりを目指して
- 読むこと部: 自立した学習者を育てる読むことの指導
- 言語部: 言葉のよさに気づき、親しみ、日常生活に活かす単元づくり

Ⅲ 研究組織

【役員会・常任理事会】

全体の研究の方向性を定め、研究事業の運営を担っています。多摩地区研究会と連携しています。

研究大会事業：総会・講演会（5月）、多摩地区総会研究大会（5月）、
第35回研究大会（2月）

研究調査事業：まなび塾（7月）、多摩まなび塾（10月）

研究成果刊行事業：機関誌「国語教育」発行（年2回）、
多摩地区研究会会報「国語教育」発行（年2回）

【話すこと・聞くこと部】 講師 都小国研顧問 邑上 裕子先生

今年度の研究内容①児童の実態把握・分析に基づいた単元で、身に付けさせたい力の設定②単元づくりの工夫③児童が身に付けたい力を意識し、主体的に取り組む学習活動の工夫④評価の工夫

【書くこと部】 講師 都小国研顧問 成家 亘宏先生

今年度の研究内容①単元開発の工夫②柔軟な学習過程の工夫③評価活動の充実④対話的な書く活動の工夫

【読むこと部】 講師 都小国研顧問 鶴巻 景子先生

今年度の研究内容①児童が身に付けたい力を自覚し、主体的に学習に取り組むための工夫②自らの考えをもち、多様な考えをもつ人と関わり、新たな考えをもつための工夫

【言語部】 講師 都小国研顧問 今村 久二先生 都小国研参与 泉 宜宏先生

今年度の研究内容①言葉の学習が「書くこと」に生きる単元構成の工夫
②言葉に親しむための仕掛けづくり、開発

Ⅳ 第35回研究大会（詳細は本会のホームページをご覧ください。）

☆日時 令和7年2月21日（金）

☆開催方法 都内2会場での分散開催

第一会場：大田区立洗足池小学校【書くこと部、読むこと部】

講演 文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

大塚 健太郎 先生

第二会場：江東区立第五大島小学校【話すこと・聞くこと部、言語部】

講演 日本国語教育学会 会長

桑原 隆 先生

☆時程 13:40～ 公開授業

14:35～ 各部研究発表、研究協議、
講師による指導・講評

15:40～ 全体会・講演

☆参加方法 QRコードより事前申込制です。

参加費1000円です。

（イベントペイでの支払いです。）



<令和6年度連絡先>

団体名		東京都小学校国語教育研究会	
代表者	所属	大田区立洗足池小学	
	職 氏名	校長 伊藤 聡	
	連絡先	03-3726-4301	
事務局	所属	江東区立第五大島小学校	
	職 氏名	校長 青木 由美子	
	連絡先	03-3681-5011	
団体ホームページ	URL	http://tosyokoku.org/wp/	二次元コード